

あまでうす

関市といえ、円空に深く関わりのある町である。いちど訪ねたことのある「円空館」には、30体の円空物が展示されている。その近くに弥勒寺が建ち、竹藪の中には円空の墓もある。

の？」(周りにいた女性陣に訊くと、関市には「円空さん」という銘菓があるという)「そもそも、この起こりは、この一言から滅法界悩むことになる。文化的ゼネレーション・ギャップの閃光をあびせられてから、果てしなく宇宙の彼方をさまようが如く、その後遺症ともいうべき状況は、こんにちまで影絵仕掛けの回り灯籠のように、グルグルグルグルと、永遠に回り続けるのではなからうかと思うほど脳裏に影響を与え、青色吐息状態であった。

日と改めて関市にある和菓子屋「虎屋」に「円空さん」を買いたい。行けば、解決するのではと、車をころがして行くことにやぶさかではない。そこで、時代に取残されぬよう「70にして、心の欲するところ(のり)を蹲(こ)えず」という心境で、一路関市に向かうことにした。

それはないだろう。と、本町通りをゆるゆると車を進めた。そうこうして、うちらに、前方に「虎屋」の看板が見えた。店の隣が駐車場になっっているように、そこに車を止め、店の中に入る。そこには「円空さん」もウインドウに行儀よく並んでいた。「いらつしやいませ」と、この奥さんらしい人に声をかけられ、「先日、電話して予約したものですが」と言うと、「はい、伺っており入ったあの『円空さん』を受け取った。そして、向かうは、流れに掉さすとはいならず、思い出すとハドルがブレそうになる、あの日の出来事が起きたカフェ。今日は、そこで演奏のある日、友達も来て

ている。中に入ると買ったばかりの「円空さん」を4人に渡し、買って来た経緯を手短かに話し終え、と、脳裏にわだかまっていた妖とも言おうべき、影絵の回転も止まり、灯籠の明かりも消滅したのであった。

風地蔵新聞

第162号 発行 編集 風地蔵 白石 美帆 〒503-0922 岐阜県大垣市馬場町85 ご感想・エッセイ・俳句・おちまセー歌りなどお便りして

6年ぶりの 苦みを味わう

大橋 美紀

2月末の休日、夕方少し遅くまで犬の散歩に出掛けました。日当たりの良い、南の土手に女性が一人スーパリーの袋を持つて腰を曲げている様子。犬を連れ近づく

な人は好きなんだろ。う。「春は苦みを盛れ」という言葉もありません。冬から春のからだに変わるメカニズムをスムーズにする働きがある。少し調べてみると冬眠から覚めた熊が一番「ふきのとう」らしく、ふきのとうの苦みを体内に取り入れることで眠っていたからだを目覚めさせるそうです。菜の花・セリ・フキ・ウド・竹の子・ゼンマイ・ワラビと苦みがある物が多。なかなか季節を味わうことが少なくなってきた

る中、春しか出会えない物がたくさんある。古くから言われている「春は苦みを盛れ」は体にとつて老廃物がたまった冬から苦みで目覚めさせたり、新陳代謝を促すという事です。まだ若いときは苦みはまずい思いしかなく、30代になつてやつと苦みのおいしさを知りました。さういえばつくしもさういふ食べ物ではない。なと思、次の休みに日当たりの良い土手に犬の散歩をしながら向かいました。犬の一匹がつかした。頭を好んで食べるの

で大変。次々と食べる。採ろうと思つているのに、少々イライラしつつなんと一回煮るぐらいのついでに採ることが出来る。家に戻りつくしたのはかまを取ろうとして、2匹の犬を見てビックリ。足下を中心にヒツツキボウがいっぱいついていた。はかまより先これを取らないと家には入れない。全部とるのに40分ぐらいかかった。これはいっきに疲れ、すぐはかまを取る気になれず、しばらく休憩。ふつとこれ以上休憩してればもつとやる気がなくなると思、はかまを取ると指と爪の間が黒

くなり手を洗つても落ちない。これが一番嫌なこと。しばらく水につけ、たっぷりの水を沸かし茹でる。一度洗い、お酒砂糖お醤油など甘辛に煮る。少し鷹の爪を入れました。そして最後に軽く混ぜた卵を入れて卵とじのできあがり。その日の食事の一品としてティーブルに6年ぶりに並びました。一口食べほろつと苦みを感じこんな美味しいう物だったと改めて思いました。この日の夕食はすっかり春を味わいました。

川風

白石美帆

「加藤登記子トク」と2人で行ってきま

太宰府のプラムカル

コア30周年に呼ば

れたそうです。

ポストターが貼られて

発売日をチェックして

嫌って言うかと思っ

たら「加藤登記子か、

いいねえ」といいま

した。よっしゃ〜!

きつと数年前に強制

的に誘った八代亜紀

のジャズライブが意

外にも良くて

歌がうまい人のほ

きたいねって日頃か

ら調教していたから

かもしれません。笑

発売日の券取り合戦

は一番かなと思いき

や30番目くらいで

した。

発売場所を取れる

席が決まっていて

真ん前が良かったけ

どと後ろの枠しかな

辺と後ろの枠しかな

くて2列目の左端に

しました。

カミテからお出てく

真っ赤なおときさん

に歓声が上がります。

小さな会場は2階席

まで満員御礼。平均

年齢を頑張ったか

ま5才と追いつかず

ろでしようか。

そうそう、ご本人が

現れる前に市のイ

ベントならでわの市

長のごあいさつ。

そんないいのに。

しかも上手だっ

た!

太宰府市民でありな

がら初めて見た太

宰府市長は2年目の

新入市長と自己紹

介から始まって、

の記念講演に、

紀子に呼ばれた。時

の流れて歌があ、誰

どこで聞いたか、

と聞いたら、

「一緒に聞いたあ

女は今はいない。に会場がどつと沸いた。この人ってチャリミングなんだ!」ひとり寝の子守歌はバリケードの中で聞いた。とか、噂とは違ってお気に入りモド。

一緒に太宰府のまちを盛り上げましょう!と見事なオープニングからの登場だった。ステージは薔薇の大型ポットライトの中に真つ赤な大きなストールをまとい

水の学生と合コンをしようとしたのは今でも許せないわ!とシワが目立ってはい

たけれど、すっかり会場も若かりし頃の自分たちをタイムスリップしておときさんの歌と話しに引き込まれていった。

歌には深い意味がある。国や故郷を奪われても奪えない。そんな苦しみの中でさえも、苦しめるのが歌なんだ。

エディットピアフにあこがれて、「人生おもしろいことをせよ、堅苦しそうな大学なんかに行って!」と口癖の父親が学生時代にシャンソンコンテストに応募したのがきっかけでプロへ。

日本のピアフは美空ひばりさん、苦しい時代に大勢の歌を歌で生かした。なのに自分らしい歌が歌えずに模索した。

ひーおじいさんが滋賀出身で京都で呉服商をやった。父がつぶした。と言つてもその時代、つぶれる会社はごまんとあり、レコード、プロデュースと生きた父。

「故郷は京都だぞ」という父に「生まれ

たのはハルピンやろ」と他の一人一言に「何

だろ。悲しんだは

目尻をさげ、いつも変わらぬ顔で、会場一人一人の顔にアイコンタクトです。ア

の心を観客の大半に

した。5秒も経たない

時点。自分の人生を語

るライヴにする。と

宣言された。

太宰府の館長「これが

君らしい。東大の同級

生らしい。子がいな

人か。女のときお茶の

生まれ何百万人も

の人は故郷はない

じゃないか」と嘆いた。

加藤登記子が佐世保

に引き上げてきたの

がまだ2才にならな

い頃。引き揚げ船の

1番は福岡2番に多

かったのが佐世保だ

た。

少しだけ戦争を知っ

ている自分はある。3

さん故郷がある。た

9年ぶりにハルピン

に呼ばれライブをし

た。現地の中国人が

「おまえりなさい」

と抱きしめてくれた。

と抱きしめてくれた。

中国の人達は誰も

優しかった。日本が

負けてきたうまで威

張り散らしていた日

本人がおとなしくな

り、日本人に「死ね

り」を配った。「死ぬ

もんか!」ハルピン

には故郷がない人が

いっぱいいた。母は

ロシア語も覚え、や

ってくるロシアの兵

さんにおんちわ。

お父さんお母さんは

どこにいたの?と話

しかけた。敵のはず

のロシア兵は恐かっ

たけど一人一人に語

りかけると涙をぼ

ろぼろと流すんだと。

国としてではなく、

とり一人なんだと、

言う母に中国の人も

ロシアの兵隊さんも

すごく優しくしてく

れた。「琵琶湖航

子の歌」。「我は海

海の子で、さすらい

の代わりになる。ど

の歌にも深い望郷の

思いがある。百万本

のバラの後に歌った

聞いたことのあるそ

の歌を始めて意味を

感じて聞き入った。

ハルピンの駅。記憶

に無いはずのプラッ

トホームの屋根を私

は覚えてる!涙があ

ふれてとまらなかつ

た。

そして1968年。

運命の出会い。

時代はベトナム戦争

の真っ最中。自分は

6年かかって大学を

卒業。東大医学部の

デモ。自分たちで自

治を守れ!

「デモに来て歌いま

せんか」とその男が

私の前に現れた。

「かつこよかつたの

より」とおときさん

の頬が1968に

紅潮する。

「そういう風にな

を使わないで!」きつ

ぱり断った。

「と、言ったのがよ

かったのよね」と3

日後に彼から電話が

あったという。

「知床旅情」は彼に

教わった。夜道で浪々

歌う彼の知床旅情を

聴きながら「オレた

ち」のフレーズが身

に響いた。涙がぼろ

ぼろこぼれた。

当時は23日拘留が

当たり前の中、指揮

をしてた彼が、初め

のデモでは捕まらず

家に帰ってきた。

「警察は逃げる者を

追うもんだな」と堂々

と警察隊の方へ歩い

て行ったら道をあけ

てくれたのだと。

それだから2度目の

指揮も出来たのだが、

よけい刑がおもくな

た。

男気のある彼は今

の状態で父さんに

嫁に欲しいともら

に行くことは出来な

いと云った。出来な

自分たちでもどうし

ようもないときに大

きな目に見えない力

が働くものだ。

赤ちゃんが出来た。

獄中だつて結婚でき

るし、赤ちゃんも産

める。シングルマザー

にはならない。

自分の歌を作りたい

ギターをぼろんと

鳴らし、「ひとり寝

の子守歌」を目の前

で歌つてくれた。

永六輔さんや、野中

さん、高倉健さんと

の「えにし」から産

まれたうたを話しの

中に織り交ぜて歌つ

てくれた。

人生の歌だった。

私やダンナは知らな

い歴史もあるけれど

い浮かべながら、ひ

きつけられた。

「さつき、サイン会

でふつとあたしの

顔を見上げたかと思

たら

まあ抱きしめたく

なるわ!」って、椅子

から立ち上がってぎゅ

うぐゅって、して

くれたわ。」

今夜、話すと歌を聴

きながら、あま

日本のことも、あま

り知らずにいる私

たちがふつと生きて

きた人々の当時の顔

がみえた。

下を向いていられず

に、ぐつと上を向

いた真つ黒に日焼け

した白い歯で活き活

した顔だった。

一つの世も、歴史は

一般の人達が作って

いる。

そしてそれを歌で綴

っている。加藤登記

は今ピアフになつた

んじやないだろうか。

すっきり日は落ち互

いの顔も見えないけ

ど手をつないで終わ

らない道を歩いた。

久しぶりの九州旅行
パート4
鎌澤 宣子
のし湯に来たのは何年ぶりでしょう。私の記憶が正しければ、芳枝さん、た

お茶請けを頂いてし
のし湯の風景です。
ここでは若女将と始
めて話しをさせて頂
きました。まずはご

もと変わらな所作
で、奥から出てこ
られたので、びっく
りました。ケガをさ

巾着袋は今愛用して
います。ひとしきり
お話をしたあと、お
部屋に案内して頂き

中を見て回りました。
少し落ちていたので、
まずはお風呂に行こ
うということ、部
屋着に着替えようと

ちよつと立ち話
新聞 九州旅行の話
GWに家族全員で大
垣入りする予定だが、

し、漫才みたいだね。
（カフエのお客様）
新聞 届くの楽しみ
のおいしいさま）
ドタバタの初節句で

す。色々大垣のこと
を聞かせてもらうの
が私の楽しみとなっ
ています。
やっぱ家族にとっ

れているのを掃除を
しながら聞いていま
した。店長は隆男さ
んをおだてながら、

ので恵方巻きだけは
作りませんでした。一
本まるは食べていて
疲れるので、最初か

